

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	家族と社会学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	視聴覚室・講堂
担当教員	石井 徹	実務経験と その関連資格	島根大学名誉教授(もと人間科学部教授)			
《授業科目における学習内容》 様々な科学的知見を素に私たちのすばらしさを紹介してゆきます。紹介するのは心理学や社会学を始めとして、小学校で習った理科や中学校の生物、さらには脳科学や考古学等々の知見を考えています。そんなこんなを通して私たちがいま持っている精密で巧妙な仕組みを改めて見ていただきます。私たちとは、受講生のみなさんや私はもとより、各自のご家族、ご近所や地域の方々プラスそれを越えた人々、すなわちまだ知らない地域の人々やこれから出会う人たちも含まれます。一つでもたくさんをめざして私たちの精巧なすばらしさをご覧いただく予定です。						
《成績評価の方法と基準》 筆記試験の成績を基礎とします。各自が理解した内容を各自の言葉で回答して下さい。一問25点満点の問題を6・7個構える予定です(得点合計が100点を超える場合には100点とします)。筆記試験の成績が合格点に及ばない場合にはふだんの受講態度等も参考にします。講義内容の復習を重視します。講義内容に関する質問などを歓迎します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 図説心理学入門 齊藤勇編 誠信書房						
《授業外における学習方法》 講義内容についてとくに受講生同士で確認しあうことを勧めます。これを通して各自の言葉で表現することに慣れて下さい。身の回りの人々をさりげなく「観察」するクセをつけてみて下さい。						
《履修に当たっての留意点》 当科目で紹介する内容は「人間関係論」、「人間心理学」と一部重なります。さらに、個々の事例について理解の仕方が異なる場合があります。科目ごとの、理解する文脈の違いによるものです。そのつどこまめに確かめてみて下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族でもなく友人でもない存在「ご近所」に気付いて下さい。	講義資料+テキスト他		復習を勧めます。
		各コマにおける授業予定	総論:この先14コマの予定と試験の予定をお話します。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	奥行き知覚が説明できる	同上		同上
		各コマにおける授業予定	個人の認知特性を奥行き知覚を例に解説します。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	個人の認知特性が説明できる	同上		同上
		各コマにおける授業予定	先の講義内容を素に五感の特性と第六感を解説します。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	個人の認知特性の「社会性」がわかる	同上		同上
		各コマにおける授業予定	「条件付け」の内容と意義を解説します。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	行動形成の「社会性」がわかる	同上		同上
		各コマにおける授業予定	「道具的 condition 付け」の内容と意義を解説します。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	自発的学習の「社会性」がわかる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	「潜在学習」・「洞察学習」・「観察学習」の内容と意義を解説します。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	「つもり」・「ごっこ」(抽象する能力)の意義がわかる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	発達心理学と動物行動学から知見を紹介します。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	「記憶」の働き方と「社会性」がわかる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	五感と記憶の関係, 記憶の変容について解説します。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	「間主観性」がわかる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	社会学から「間主観性」と「構成期待」を紹介します。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	「構成期待」の「予期」がわかる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	これまでの学習内容に含まれる「予期」を整理, 紹介します。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	日々の「無意識」, 「適応的無意識」がわかる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	これまでの学習内容をもとに「適応的無意識」を紹介します。		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	日々の「無意識」, 「適応的無意識」の基礎がわかる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	脳科学が示す「無意識」を紹介します。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	意識と無意識のスイッチ「ふつと変」がわかる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	「自他×ふつと変」の奇妙な関係を解説します。		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ご近所の「ふつと変」がわかる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	社会学の「信頼」と特殊詐欺について解説します。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	世間の「ふつと変」がわかる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	集合行動論を紹介し, パニックの条件を考えます。		